

# 【みんなのダンス教室・みんなのダンス発表会 実施報告】

催事名：みんなのダンスシリーズ

文化庁・日本アダプテッドブレイキン協会・中外製薬・ファインプラザ大阪



すべての革新は患者さんのために

中外製薬

Roche ロシュ グループ



主催：文化庁 / 日本アダプテッドブレイキン協会

特別協賛：中外製薬(株)

協力：ファインプラザ大阪 / 川村義肢(株) / パシフィックサプライ(株) 運営：ヨジゲンズ

文化庁委託事業「令和3年度障害者等による文化芸術活動推進事業（文化芸術による共生社会の推進を含む）」

## ◎みんなのダンス教室・みんなのダンス体験(14回+2回)

主催：文化庁、日本アダプテッドブレイキン協会、ファインプラザ大阪

特別協賛：中外製薬株式会社

協力：川村義肢(株)、パシフィックサプライ(株)

運営協力(講師キャスティング等)：ヨジゲンズ

日時：

「みんなのダンス教室」文化庁・日本アダプテッドブレイキン協会

13:30～16:00開催(2時間30分)

4/17(土)、5/22中止、7/3(土)、7/17(土)、8/14(土)、9/4(土)、9/18(土)、10/23(土)、11/13(土)

※ファインプラザ大阪主催「みんなのダンス体験(13:00～14:00)」の開催日は14:00～15:30で実施。

6/26(土)、7/31(土)、8/28(土)、9/25(土)、10/30(土)、11/27(土)(2022年1/22(土)、3/19(土)も開催)

会場：大阪府立障がい者交流促進センターファインプラザ大阪(大阪府堺市南区城山台5丁1-2)

参加者：障がいの有る方、その兄弟姉妹や介助者の皆さん、年齢制限は無し。

参加費：500円

講師：SHUNJI、NARI Digitz、Meeho(サポート講師：LILL、アナーキー、せーわ)

## 【報告】

みんなのダンス教室(障がい児/者向けジャンルを問わないダンスレッスン教室)は講師3人(立位、座位、フロア)によって通年で開催しました。4月に一度自主開催しましたが、コロナ規制により4月後半から6月後半まで中断し、6月末より再開となりました。告知と募集はSNSやファインプラザ大阪他、府立母子センターや医療センターなど障害児童の集まる施設にて行いました。月末開催については、ダンス文化を知ってもらうことを目的としたファインプラザ大阪のダンス体験会+文化庁のダンス教室として毎回ショーケース披露も行いました。



## ◎みんなのダンス発表会(通年で開催した「みんなのダンス教室」の成果発表)

場所:大阪府立障がい者交流促進センター ファインプラザ大阪およびオンライン配信

日時:2021年12/5(日)

出演:20名

他、講師/指導演奏:講師+ゲストダンサー5人、web配信3人、スタッフ6人、専門家1人(コロナ禍対策)

現場観覧:25名(当日/アーカイブ配信YouTube1020名視聴)

### 【報告】

春より開催してきた「みんなのダンス教室」の成果を発表する機会として「みんなのダンス発表会」を開始しました。公的施設(大阪府)のコロナ禍による入場規制のために現場の鑑賞は参加者1名につき介助者/同行1名としました。2回公演で2回目はwebによるLIVE配信とアーカイブ配信を行いました。講師+ゲストダンサー(大前光一:下腿切断)によるショーケースも行い、大阪府からは継続した来年度の開催(教室と発表会)の声掛けもいただきました。

・「みんなのダンス発表会」動画はこちらをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=Jlyd3Jk03Pk&t=1273s>



### 【総括】

身体活動の楽しさと自己表現の一助になれば…と始めたダンス教室ですが、3つのスタイルに分けて月に複数回の定期開催することで色々な効果がありました。

個人の心身の障がい特性に合わせて講師が指導するプログラムを組みダンスジャンルやルーチンを選ぶことで、個々が自分の障害をマイナスに考えるのではなく、前向きにダンスに生活に取り組めるようになりました。音楽に合わせて踊ることが四肢の動作の調和性、身体バランス感覚と協調性の向上につながりました。

発表会に向けたグループ練習の段階では、表情の創出、感情の表出、気持ちを相手に伝える、などコミュニケーション能力の向上にも役立ったと思われます。

また親御さんからの聞き取り調査から、先を予測する、将来を考える、計画性を持って行動する、自らを反省する、自分を見直す、など現時点に固執する利己的な心身に障がいを持つ子供であったのが、友達や仲間のことを思い自分を含めた集団の将来を計画立てて考えるような成長も多くの参加者に見ることができました。

総じて、ダンスを楽しむ以外に、相手と自分の距離を測る、社会性を持つ共同生活を送るなどの礎になった令和3年度「みんなのダンス教室」と「みんなのダンス発表会」でありました。

以下は親御さんからのご意見です。

「慣れるに従って、日付の捉え方や隔週の考え方ができるようになり、次のレッスンを楽しみに待つようになりました。同時に自己管理の可能性も見えてきた。ぜひ継続してもらえるようにお願いします。」  
「年齢や障がいが違うダンス友達ができ、コミュニケーション能力の向上と相手を思いやる気持ちが身に付いてきて家庭でも兄弟に優しさをもって接するようになりました。また発表会を目指して練習する段階ではチーム活動や共同作業を学ぶこともできました。」

「土曜日のレッスンなのに木曜から食事や睡眠の体調を整えて規則正しい生活ができるようになりました。前日にはレッスンを想定して荷物や行動の準備ができるようになりました。」

## 【講師紹介】

ブレイキン(フロア)担当

『SHUNJI(シュンジ):プロブレイクダンサー』

スレッドと呼ばれるダンステクニックを世界トップレベルにこなし、国境、ジャンル、業界に縛られず縦横無尽に活躍。世界レベルのブレイクダンスチームMORTAL COMBATのメンバーとして培った経験を生かし「レアジャンルダンスと世の中」を結びつける活動をしている。

シッティング(座位)担当

『NARI Digitz(ナリ デイジツ):フィンガー スタイリスト』

職業 Finger Stylist。フィンガーダンスシーンの黎明期を支えた世界的レジェンドの1人。シーン初期の世界大会2度の優勝を経て、フィンガーダンス界の審査員としてなくてはならない世界的な地位を確立。実力派ダンサーの信頼を得る一方でCM出演、振付担当などのメディア露出もスタイリッシュにこなす稀有な存在。

スタンディング(立位)担当

『meeho(みーほ):プロダンサー』

5歳からヒップホップを始め、現在はショーダンサーやキッズ対象のインストラクターとして活躍。医療系の学部を専攻し障がいのある方々へのダンスによる様々なアプローチを行っている。JDAC認定ダンス指導員2級、JDACダンス療育指導員



みんな  
の  
ダンス